

今週のビルマのニュース 2010年7月23・30日【1028号】

軍政トップがインドを訪問 北朝鮮からは外相

・軍政トップ・タンシュエ上級大将が25日からインドを公式訪問し、27日にはシン首相と会談した。両国はインド北東部の反政府武装勢力の取り締まりについての協定など5つの文書に調印し、インドはビルマの鉄道や通信インフラの整備等への信用供与や、無償資金協力を約束した(27日共同声明)。

・北朝鮮の朴宜春外相が29日からビルマを公式訪問中。北朝鮮外相の訪問は1983年のランゲーン事件以降初めて(29日APほか)。

タイがビルマから新たに天然ガスを輸入へ

・タイは30日、ビルマのマクタバン湾にあるM9鉦区から天然ガスを輸入する合意文書に調印する。2013年から供給を開始し、当初の生産予定の300mmcf(百万立方フィート/日)のうち240mmcfがタイ向け(29日ロイターほか)。

カレン民族難民6家族32人が日本へ

・第三国定住制度の下、タイのメーラ難民キャンプで暮らすカレン民族の6家族32人が9月に来日することが決まった。日本による第三国定住受け入れは初めてで、本年度から3年間で計90人のビルマ難民を受け入れる計画(26日共同)。

岡田外相「自由で公正な選挙とは言い難い」

・岡田外相は21日、訪問先のベトナムで軍政のニャンウィン外相と会談した。総選挙について「今のやり方のままでは自由で公正な選挙とは言い難い」とし、民主化運動指導者アウンサンスーチー氏との対話や政治囚の釈放を求めた。これに対しニャンウィン氏は「新憲法には[スーチー氏が]議員になれないとは書いておらず、氏は釈放され次第選挙に参加できる」などと述べた(外務省発表会談概要)。

注目の記事

・ピニェイロ元国連人権特別報告者がワシントン・ポスト紙に寄稿、オバマ政権のビルマ政策を批判(23日、原題はObama's failure in Burma)。

・「ビルマ：国軍の政党が選挙で圧倒的に有利に 軍政系団体と政党の合併で、総選挙の正統性にますます疑問符」ヒューマン・ライツ・ウォッチ ニュースリリース <http://www.hrw.org/node/91916>

・「地獄で雪が降るよりもありえない」?～ビルマ(ミャンマー)総選挙についての発言集 ツツ大主教ほか。ビルマ情報ネットワークまとめ。
<http://www.burmainfo.org>

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

7月8～13日、ASEAN各国や東ティモールの選挙関係者等が来日し、日本の選挙・行政制度に関する研修会や投票所視察などを行った。バリ民主主義フォーラムの枠組みの下、アジアで民主主義の経験を共有し選挙について理解を深めるのが目的(外務省)。

イベント情報

・第61回ビルマ市民フォーラム例会 ①「第三国定住プログラムについて—カレン難民の受け入れにあたって—最新情勢の報告」橋本直子(国際移住機関)、在日カレン難民ゾーパラティン ②「2010年総選挙を前にしたビルマ少数民族の最新情勢報告」マリッペン(カチン民族機構・日本)(池袋・ECOとしま8階、31日18時～)

・ビルマ民主化運動22周年記念デモ行進 在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか(五反田南公園集合、8月8日14時～)

・第53回メコン談話室「軍事政権下のビルマに行く?行かない?～最新のビルマの写真をまじえて」(新宿・常圓寺、8月19日18時半～)

・メータオクリニック支援の会 現地スタッフ帰国報告会及び総会 発表者：田辺文医師、フォトジャーナリスト渋谷敦志氏(JICA地球ひろばセミナールーム303、9月5日15時～、報告会は16時～)

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

<p>お問い合わせ ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀 yuki@burmainfo.org 080-2006-0165</p>
